

# 事業所自己評価シート

令和5年度

## 職員による自己評価

### A環境面

- 広めの室内（お子さんにとってはほどよい広さ）
- 必要な場合、個別の空間を工夫して作っている。
- 換気・除菌や消毒などの感染症対策をしている。

### B児童への支援内容

- お子さんの興味関心を把握して活動している。
- 情緒の安定を第一に考えた支援。
- やる気を引き出し、自己肯定感を高める内容。

### C関係機関との連携

- 学校の支援計画、療育センターなどでの発達検査を元にお子さんの状況について支援内容や方向性の確認をしている。

### D保護者への説明責任・信頼関係

- 療育の都度、ノートへの記録や送迎時の会話を通して、双方向のやりとりをしている。

### E非常対応

- 定期的な避難訓練を行い、お子さんに対しては、危険な状態の理解や「あわてない」「先生の話聞く」等の避難時のマニュアルを指導している。

## 保護者による評価

### A環境面

- 十分な活動のスペースがあり、適切な職員の配置数や専門性をもって支援にあたっていると評価されている。

### B児童への支援内容

- お子さんと保護者様のニーズや課題が客観的に分析されたうえで支援計画が作成され、固定化しないよう工夫されていると評価されている。

### C事業所からの情報発信

- 意思疎通や情報伝達のための配慮がされていると評価されている。

### D非常対応

- 緊急時対応等のマニュアル策定、及び周知、また避難訓練の実施については、ほぼよい評価をされている。

## 事業所内での分析

### 【共通点】

- ・療育センターの記録や発達検査、学校の支援計画など保護者様を通じて共有できることが多く、支援計画立案の際にとっても参考になっている。
- ・お子さんや保護者様と密にコミュニケーションをとることにより、発達の状況や興味関心がわかり、お子さんが楽しめる活動ができる。結果として自己肯定感を高めることの評価を受けている。

### 【相違点】

- ・地域との連携は各方面からの通所でもあり、なかなか難しいと思われる。保護者様の希望があれば、その内容なども吟味して実施を考えたい。

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

○運動が苦手なお子さんが、体を使って遊ぶことを通して少しずつ運動にも関心を寄せてきている。

○お子さんの興味・関心に注目し、楽しみながら育つことが自己肯定感を高めているのを、保護者様にも理解していただいている。

○保護者様を送迎していることにより、密なコミュニケーションがとれるため、お子さんの状況などに寄り添いやすい。

### 事業所の改善点

○保護者様を通して学校や園、療育センターなどと情報を共有しているが、お子さんの状況を把握するために、必要に応じてより積極的に働きかけを検討する。

○ブログで伝えきれない個々の成長については、やはり連絡帳や保護者様との会話で行なっていくが、事業所内職員の情報共有を徹底する方法について検討する。

### 事業所の改善への取り組み

○ルナで行っているいろいろな活動を、保護者様に紹介できるように、ブログ等の充実、分かりやすい広報活動を行う。

○保護者様と積極的にコミュニケーションをとることを、引き続き行っていく。そして事業所内で情報を共有し、お子さんの療育に役立てていく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

○保護者様との会話に努めてきたことで、少しずつルナの基本的な考え方を理解していただけている。

○今後もお子さんの自己肯定感を高めることを忘れずに、一人ひとりに合った療育を行って行きたいと考えている。

事業所名 luna もりのこびとたち

担当者 西園 邦恵